

校報

ましみず

特集号

掛合小学校  
平成21年3月発行

第一回(平成二十年度)卒業証書授与式

式辞(抄)

校長 富田真樹

(前略)  
掛合小学校第一回卒業証書授与式を挙行するにあたり、ご多用の中にもかかわらず、雲南市教育委員会教育委員小川真里様をはじめ、多くの方々に来賓としてご臨席を賜りました。

(中略)  
統合小学校として開校したこの掛合小学校の最高学年として、皆さんはリーダーシップを如何なく発揮し、全校をひとつにまとめ、新掛合小学校の第一ページを事に描き上げました。開校間もない五月に行われた雲南市小学校陸上競技大会においては、決勝最終種目である六年男子四百メートルリレーで、圧倒的な速さ・強さで栄冠を勝ち取りました。統合した掛合小学校を強くアピールし、人々に新掛合小学校を印象付けた輝かしい場面だったと思います。

また、九月に行った運動会では、大会運営の中心となって活躍するとともに、各色組ではリーダーとして組をまとめ、工夫を凝らし、一年生から六年生までが一体となった応援を繰り広げました。

児童会委員会の活動や、掃除、給食、或いは登下校や休憩時間など様々な場面で、下級生を思いやる優しいお兄さんお姉さんとしての姿がありました。その姿を下級生、特に来年度高学年になる四、五年生がしっかりと胸に焼きつけ、掛合小学校の新しい伝統を作っていくという意欲満々でいます。在校生のそのような気持ちになっていけば、苦勞も多かったでしょうが、全校のためにがんばったあなたたち卒業生がいたからです。もう一度言いますが、皆さんは開校一年目の最高学年としての務めをしっかき果たしました。ほんとうにありがとうございます。そして、ご苦勞様でした。

さて、この四月から掛合中学校、及び大東中学校、松江第三中学校へ進学する皆さんに、はなむけの言葉として二つのお話をします。二つともすでに皆さんには聞いたり、読んだりしてもらっていることです。一つ目は、二月の全校集会の際にお話ししたこと、二つ目は卒業文集に寄せた文章に書いたことです。

ものごとには、表と裏、右と左、女と男というように対称的な二つの面があるという話を二月にしました。どちらか一方に偏るのではなく、反対側、相手側、別の面を、考えたり、思いやったり、試してみたりすることは、人間としての幅が広がり、よりよく生きることにつながります。「中学校で、勉強と部活を両立させたい。」と抱負を述べている人がいましたが、まさにそれです。読書が好きだからといって、本の虫でいることで満足してはいけません。もう一つ何かを求め、好み、できることが大切だと思います。自分を大切に思う気持ちと、相手(自分ではない他の人)を思う気持ちと両方がないとはいけません。

二つ目です。「わたしたちは、みなつながって生きていく。」ということですが、それは、人間関係です。言い換えれば「絆」です。人間関係は、いい時もあれば、悪い時もあります。でも、それはつながっているからこそであります。また、人間と自然の間にも密接な関係があります。わたしたちは、このつながりを大切にして生きていくことが大事だと考えます。人を傷つけることは避けられることは、このつながりを断ち切るうとするものであります。自分が飲んだジュースの空き缶をポイ捨てすることは、自然とのつながりを断ち切るうとする行いです。相手のことを考えたり、空をわたる風を感じたりすることは、人とのつながり、自然とのつながりを大切にしようとする思いの溢れた行いです。文集を聞くことがあれば、思い起こしてほしいと思います。

(中略)  
最後になりましたが、ご臨席の皆様方、本校の卒業生が、豊かな自然と歴史のまち、温かい心のおふれる「ふるさと掛合」に包まれて伸びていきますように、見守っていただきますようお願い申し上げます。卒業生諸君の健康と大いなる飛躍とを願ひ、式辞といたします。(後略)

卒業生のみなさんへ

担任 松井 誠

卒業おめでとうございます。

この六年間は、皆さんにとってどんな時間でしたか。長かったですか? 楽しかったですか? きつと、一人一人いろいろな思い出があることでしょう。

卒業は、新たな出発でもあります。小学校卒業は、長い人生の初めての節目(ふしめ)といってもいいでしょう。これからの長い人生には、たくさん卒業と出発があります。だから、皆さんにはまだまだチャンスがあるということなのです。

ただ、次の節目を迎えるまでには、楽しいことばかりではありません。辛いことや悲しいこと、我慢することなどがあるはず。そして、これまでよりも自分の力で乗り越えていく経験が、今後の節目の大きさを左右することでしょう。

皆さんは、この一年間で常に新しいことに挑戦し、毎日が試行錯誤でしたね。ですが、見事に乗り越える力を身につけました。

中学校でも、自分らしさを失わず、まわりで流されることなく、自分の考えを持って進んでほしいと思います。

がんばれ! かがやく二十七の子ら。



☆ 将来の夢

岩本和稀

僕の将来の夢は、プロ野球選手になることです。プロ野球選手になり、僕の家族や今の監督さん、そういった人たちを喜ばせたいです。

なぜかという、家族の人に今までお世話になった恩返しをしたいからです。監督さんには、(自分の教え子があんなに成長している。)と思われたいからです。そして、プロ野球の打席に立ちたいからです。

引退したら、その時の子どもたちに教えられるような人になりたいです。

☆ ありがとう

小川桃果

私は、小学校で過ごしてきた六年間で、たくさんの人たちにお世話になりました。

小学校の先生方には、勉強を教えてもらいました。「たくさんのお話を教えてくださってありがとうございます」と伝えたいです。

家の人は、私のために数えきれないほどのお世話をしてもらいました。「ありがとう」と「これからよろしくね」と伝えたいです。

地域の人は、朝や学校から帰るときなどにあいさつや見守りをしてもらいました。「ありがとうございます」

ました」と伝えたいです。他にもたくさんのお世話になりました。「ありがとうございます」と伝えたいです。

☆ 将来の夢

小田晃輝

ぼくの将来の夢は、プロ野球選手になることです。なぜプロ野球選手になりたいかと言うと、野球が一番好きなスポーツだからです。いつかはプロ野球に入って活躍したいです。でも、プロ野球選手になるには、誰よりも努力して練習などをしてほしいと思います。

特に自分は、これまで通って一年間しか野球をやったことがないので下手です。だからもっと練習をすれば上手くなると思うので、たくさん練習をして努力したいと思います。これがぼくの将来の夢です。

☆ 将来の夢

落合健斗

ぼくの将来の夢は医者になることです。なぜかという、今はお年よりの人が増えているので、お年よりのために働き多くの人を救いたいからです。ぼくのおじいさんも病気で体が不自由なので、おじいさんの病気を治したいです。もう一つは、その医者になるためにたくさん勉強す

ることです。中学校では難しい地理や国語、英語があるけれども、立派な医者になるために、勉強もこれまでに以上がんばりたいです。そして、日本全国の病気の人を治してあげたいです。

☆ これからの夢

落部翔伍

僕のこれからの夢は、まず中学校でしっかりと練習、高校では島根県代表で甲子園に出て優勝し、プロ野球選手になることです。その理由は、スポーツのみんなと一緒に野球観戦に行った時に、選手たちのプレーがかっこよかったからです。それに四年間スポーツをやってきて、最後の一年ではキャプテンとしてみんなを引っ張り、大会で優勝や準優勝がとれたからです。

これからも野球を続けて、プロ野球選手になれるように練習などを積み重ねて、がんばっていききたいです。

☆ 将来の夢

小畑宏輔

ぼくの夢は医師になることです。理由は、幼いころからの夢だし、今までケガをした時診てもらって、自分もなりたいたいと思っています。

中学校でも、夢を捨てずにがんばって勉強をして、体も鍛えていききたいです。

そしていつかは、医師になって掛合にもどってくるつもりです。そして、帰ってきたときは、お年寄りが増えていと思うので診てあげたいです。

☆ 将来の夢

影山裕介

僕の将来の夢は、プロ野球選手になることです。理由は、野球を始め「野球ってこんなに楽しいんだ。」と思ったからです。

六年の大会では、優勝という結果や準優勝などができてとてもうれしかったし、改めて野球っていいなと思いました。高校で甲子園に行きたい成績を残して、ドラフトで指名されたら、攻撃や守備をしっかりやって一軍でプレーしてみたいです。そして、みんなに希望をあげられる選手になりたいです。

これからも野球を全力で頑張りたいです。



☆ これからもがんばるぞ

加瀬部 愛

私が、中学校に行つてがんばることは「笑顔」です。どんな時にも笑顔でいたいです。

「笑う門には福来たる」と言うから、たくさん笑つて福が来るようにがんばりたいです。

それに笑っている時は楽しい時なので、たくさん笑つていきたいです。

悲しい時もあるかもしれないけど、笑つて忘れたいです。

苦しい時もあるかもしれないけど、笑つてのりこえたいです。

たくさん笑つていろんなことをのりこえたりして、中学校生活を楽しく過ごしたいです。

☆ 将来の夢

小林祐太

ぼくの将来の夢は、柔道の日本代表です。理由は、今も柔道をやっているし、中学校でも柔道部に入ろうと思つているからです。そして高校でも、社会人になつてもできればやりたいです。

そして、大会にも多く出場しよい成績を残して、世界につながる大会に上位で入賞して世界大会に出たいです。試合に負けた理由を考へて、そこを直すためにがんばって練習をしていきたいです。

いつか世界大会で最高の状態で世界に挑戦してみたい、世界大会の上位に入れるようにがんばりたいです。これからも練習をがんばります。

☆ 将来の夢

坂口翔太

僕の将来の夢はプロ野球選手になることです。なぜかというと、小学校四年生のときに、掛合Dボーイズに入団して、野球つてこんなに楽しいスポーツなんだなあと感じました。野球は九人でやるゲームです。人とやるスポーツだからこの仕事を将来の夢に決めました。有名な選手になりたいし、色々な人に夢を与えることができるすごい選手にもがんばつてなりたいです。だから中学校で野球部を真剣に取り組みたいです。

☆ 中学校でがんばる事

宍戸由佳

私は中学校でがんばることが三つあります。

まず一つ目は、学習です。特に、数学の公式や計算の仕方をしっかり覚えて、テストで満点をとるためにがんばります！

二つ目は、部活のバレーです。私はスポーツの中で一番好きなバレーを楽しくやって上達できるようにがんばります！

三つ目は、先輩とのコミュニケーションをとることです。ちゃんとあいさつをしたり、しっかりお礼を言ったりすることに気をつけてがんばりたいです。

☆ 将来の夢

白築 輝

僕の将来の夢は島根県代表で甲子園に出ることです。なので、中学校では野球部でがんばって練習したいです。理由は、野球はとても楽しいスポーツだし、友達とキャッチボールをしたり野球をして遊ぶことが好きだからです。それに、野球中継を見て、試合に出てみたいと思つたのがきっかけです。

☆ 中学校でがんばること

白築美聡

私が、これからがんばりたいことは、部活を勉強です。部活動では、バドミントンをがんばりたいです。私は六年間続けたので、これからもがんばって全国大会の出場を目指していきたいです。

勉強では、中学生になって、新しい教科が、英語・数学など難しい教科があるの、分らないことがないようにがんばりたいです。中学校では、中間テストなどの試験があるので、四百点以上を目指してがんばりたいです。中学校から帰ってから、予習や復習をちゃんとして、次からの生活に生かしていきたいと思ひます。

☆ 中学校でがんばりたいこと

田部美咲

私がこれからはがんばりたいことは、部活動と人とのふれあいです。

私は、バレー部に入ろうと思ひます。練習がキツイかもしれないけどがんばります。

もう一つの人のふれあいは、同級生や先輩と仲良くすることです。先輩には礼儀正しく接して、同級生とは仲良く楽しく過ごしたいです。中学校では、「がんばりたいこと」を忘れずに楽しく過ごしたいと思ひます。

小学校で学んだことを忘れず、言葉使いや態度に気を付けて生活したいです。これからも、がんばります。



☆ 将来の夢

永瀬恭介

僕の将来の夢は、プロ野球でピッチャーをすることです。僕は、五年生の終りからピッチャーをしています。僕は、練習するたびに試合で速い球が投げられるようになるのが楽しいです。最後の大会では、準優勝という結果を残すことが出来ませんでした。

プロ野球選手になったら、一軍でピッチャーというポジションでマウンドに立ちたいです。必ず活躍して、ファンのみなさんに夢や希望をあたえることの出来るような選手になりたいと思います。

☆ 中学校で

がんばりたいこと

中村優華

私が、中学校でがんばりたいことは、部活と勉強を言葉遣いに気をつけることです。部活は、バレー部に入って、もっとバレーが上手になるようにがんばりたいです。勉強は歴史が苦手なので、がんばって少しでも覚えられるようにしたいです。あと、中学校では英語の授業があるので、ちゃんと英語を覚えられるようにがんばりたいです。

中学生になったら、言葉遣いを気をつけるようにして、相手の気持ちを

考えながら話すようにしたいです。中学校では、いろんなことをがんばろうと思います。

☆ 将来の夢

藤原圭汰

多くの将来の夢はプロ野球選手になることです。理由は、今年の大会で優勝が一回できたし、準優勝は二回もできたからです。

強い他のチームともいい試合ができたからさらに野球が楽しくなりました。

もう一つは野球が好きなので、これからもずっと続けていきたいし、中学校でも、もっといろいろなことを学びたいです。いろいろな人たちと友達になれる機会も多いので、野球を続けていきたいです。あと、いろいろなプロ野球選手の人たちといっしょにプレーをしたり、戦ってみたいからです。

いつまでも野球をしたいです。

☆ 将来の夢

藤原孝光

多くの将来の夢は、島根県代表で甲子園に行ってプロ野球選手になることです。なぜかという、六年生になってから野球に入って、みんなより技術が下でくやくして、いつかみんなより上手になりたいと思っ

たからです。

多くの将来の夢は、プロ野球選手になったらタイトルも取りたいけど、何より野球が好きなんにもきらいな人にも、夢を与えられるような選手になりたいです。なので、これからもみんなに追いつけるように野球の練習をがんばりたいです。

☆ 将来の夢

藤原信行

多くの将来の夢は、プロ野球選手になることです。理由は、友達に「野球に入ってみない？」と言われ、キャッチボールやバッティングが楽しく感じて野球が好きになりました。

それから、野球をやっているうちにどんどん楽しくなっていて、今年準優勝を二回、優勝を一回となり強いチームにもなりました。

だから、中学校や高校では甲子園に行けるようにがんばりたいです。これからも、一生けん命野球の練習をして、大会では、優勝に貢献できるようにがんばりたいです。

☆ 将来の夢

藤原秀光

多くの将来の夢は、プロ野球選手になることです。なぜかという、テレビで日本代表の選手を見ていて、かっこいいなあこがれたからです。また、野球をするならプロを目指したいと思っています。

プロ野球選手になるには、人一倍努力しないとねれないとぼくは思うので、素振りなどをがんばってやりたいです。

野球はチームプレーなので、仲間や監督を信じて全力でプレーして、プロ野球選手になる夢を追いかけたいです。中学校でも一生けん命野球を続けていきたいです。

☆ 中学校でがんばること

藤原美優

私が中学校でがんばりたいことは、部活と勉強の両立です。私の兄は中学二年生ですが、両立がとても大変そうです。私は勉強も良い成績を残したいし、部活も手をぬかずがんばりたいです。だから、勉強も部活動も精いっぱいがんばれる中学生を目指しています。そのための一歩として、どんなに部活でつかれていても、「毎日必ず机に向かう」ということをしようと思います。とても大変なことかもしれないけど、



しつかり続けていきたいです。  
この目標を達成して、中学校生活をより良いものに使いたいです。

### ☆ 将来の夢

堀江謙公

ぼくの将来の夢は、「プロ野球選手」になることです。その理由は、お父さんとプロ野球の観戦に行つたからです。それでぼくは、掛合Dボーイズというスポ少に入りました。四年間チームで野球を続けました。今年は、大会でいくつもの準優勝や優勝し、いっそうプロになりました。い気持が増しました。これから中学校、そして高校で野球をして甲子園のグラウンドに立つために、一生けん命練習や努力をしたいと思ひます。



### ☆ 将来の夢

松村研大

ぼくの将来の夢は、二つあります。一つ目は、プロ野球選手です。理由は、今年野球の県大会へ行き、良い成績を残し、この力をみがき続け、活やくできたらいいなと思つたからです。そして、みんなに夢をあたえられたらいいです。

二つ目は、いつまでも野球を続けいつまでも、夢をあたえていきたいです。プロ野球選手を引退しても、教える側になり、「野球を続けて良かった。」「野球つて楽しいな。」と言ってもらいたいからです。そしていつまでも、みんなから、尊敬される人になりたいです。

### ☆ 中学校でがんばること

松村由佳子

私が、中学校でがんばりたいことは、勉強と部活動と言葉づかいに気をつけることです。私は歴史の勉強が苦手なので毎日家に帰ったら覚えられるように勉強したいです。部活動では、私はバレー部に入りたいと思つています。走つたりアタックを打つたり、すごく大変かもしれないけどがんばります。私は言葉づかいが悪いので言葉づかいに気をつけたいです。相手が傷つかない言葉を使いたいと思ひます。

私は言葉づかいが悪いので言葉づかいに気をつけたいです。相手が傷つかない言葉を使いたいと思ひます。

中学生になったら、大変だと思うけど一生けん命がんばりたいです。

### ☆ 将来の夢

三浦航太郎

ぼくの夢は、柔道選手になる事です。なぜかと言うと、相手を投げたりするところが好きだしもつとうまくなりたいたからです。

柔道をみんなとやると楽しいし、試合して勝つたらすごくうれしいからです。中学生になつても、努力をしてがんばりたいと思ひました。なので、打ちこみ、ねわざ、らんどりなどを一生けん命やって、みんなより努力し監督やコーチの話を聞き、全力でやり柔道選手を目指そうと、ぼくは思ひました。これからも一生けん命やりたいです。

### ☆ 私のがんばりたいこと

森山恵利果

私のがんばりたいことは、中学校での部活動と勉強です。私は算数が苦手なので中学校では特に数学を頑張りたいです。部活では、すいそうがく部かバレー部に入りたいです。

思つています。バレー部は好きなのでだいじょうぶだと思ひます。すいそうがく部は、ちよつとむずかしそうだけど頑張りたいと思ひます。これが私の頑張りたいことです。

### ☆ ありがとう

渡部瑠美

私は、六年間の感謝の気持ちを家族に伝えたいと思ひます。まず最初は、お母さんです。理由は、いつも相談にのつてくれたり、料理を覚えてくれたりするからです。

次は、お父さんです。休みの日になると公園でキャッチボールなどをしてくれます。

次は、お兄ちゃんです。いつもたのむと体力作りにつきあつてくれるからです。

最後に、妹の愛美です。いつも変なことをして、笑わせてくれるからです。

本当に、ありがとうございます。



# 栄光の跡 第42回島根県書初め展

この書初め展には、3年生以上が出品しました。

(敬称 略)

特選	第4学年	藤原 沙那			
金賞	第3学年	飯塚 成希	落合 優菜	洞ノ上陽貴	
	第5学年	大島日菜子	藤原 蒼志		
	第6学年	松村由佳子			
銀賞	第3学年	小豆澤真帆	石飛 公基	石飛 優花	板垣 志摩
		景山 祐夢	高尾 拓海	本間みゆき	和久利星哉
		加藤 真弥			
	第4学年	飯塚 柁樹	大井理彩子	大野 汰一	落合 志帆
		片石 春名	勝部 学美	重富 楓	白菊帆乃佳
		陶山 航平	都間 佳音	永瀬七夏海	深津 里紗
第5学年	藤原 由華	松村 匠悟	森山 梨仁	山毛 翔太	
	石飛 成馬	石飛 大暉	原 茉奈美	樋口 陽子	
第6学年	落合 健斗	落部 翔伍	穴戸 由佳	中村 優華	
		藤原 秀光			

## 【移行措置の内容】

- 道徳、総合的な学習の時間、特別活動は、平成21年度から新学習指導要領の規定で行います。
- 算数、理科は国が作成・配付する教材を使って先行（23年度を待たないで）実施します。
  - ・新課程の内容を一部前倒して実施。
  - ・上記に伴い、総授業時数を各学年で週1コマ（45分単位）増やします。
- 上記以外の教科は、平成23年度からの実施になります。ただし、以下の内容は全部の学校で先行実施します。
  - ① 「47都道府県の名称と位置」
  - ② 音楽の共通歌唱教材として指導する曲数の充実
  - ③ 低学年での体育の授業時数の増加
 以上が、主な内容です。

**来年度の教育課程**  
 一月号でもお知らせしましたが、来年度から学習指導要領の改訂にもなう、移行措置が始まります。

☆二学期の始まりを  
 八月二十七日（木）とします。

上記の内容で移行措置を含めた教育課程を実施するにあたって、学校行事等の実施時期の検討をしました。例えば、今年度は六月に行った第五学年の宿泊研修（サンレイク研修）を、来年度は二泊三日にし、夏休み中に実施します。これは、今回の改訂により、授業（学校行事）として計上できることになりました。

この他、種々検討しましたが、特に第六学年において、授業時数の確保が難しい状況があります。また、本年度第二学年及び、第三学年で行ったようなインフルエンザによる学年・学校閉鎖や、大雪などの自然災害などによる一斉休校などの事態が生じると、とたんに授業時間数に影響が出ます。

授業日の設定については、雲南市立小・中学校管理規則の定めに従い、変更の場合は雲南市教育委員会の承認を得て行うこととなります。始業式を八月二十七日にするこ

とによって、二日半（第三学年以上で十六時間）の時数増加が見込めます。なお、現在、八月二十八日からの給食の実施が可能かどうか検討中です。